

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域運営推進会議を活かした取り組みについて見直す必要がある	地域運営推進員からの助言等を活かし率直な意見が出やすい空気を作る事ができる	①事業所の抱えている問題も提起 ②事業所内の改善点を明確にする	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等の反映が薄い為、関わりの時間が少ない	担当者会議や運営推進会議の機会を利用し、家族との関わりの時間を増やす。年間行事スケジュールを配布し、行事に参加して頂き施設での生活や職員の利用者への対応も見て頂く。	①運営推進会議への参加の声掛け ②年間スケジュールを配布し、行事への参加率を上げる	12ヶ月
3	49	日常的な外出支援が出来ていない、外出は病院受診か一部の利用者のドライブのみ。外出の機会が少なく利用者が外気に触れ、楽しむ時間が少なく閉鎖的な環境になっている。	足の不自由な方はドライブで対応。お元気な方は、施設の目の前が車が多く事故多発地帯なので、車で八景水谷公園までお連れし、公園内を散歩する。	①スケジュールにドライブと散歩の計画を組み込む ②家族の面会時に家族の支援による散歩のお願い ③八景水谷公園での散歩の計画	12ヶ月
4	49	入退院による重度化や終末期に向けた方針の共有と利用者や家族への思いへの支援を明確にする	医療との連携により利用者や家族との要望に合わせた終末期を支援する事ができる 看取り希望のご家族が増えてきたため、施設での看取りの指針。方針を定期的に家族に説明おこない、ご本人やご家族の考えをしっかりと確認していく。	①主治医による家族への説明 ②病状変化への対応 ③記録の書き方 ④急変時の対応	12ヶ月
5	19	本人を共に支え合う家族との関係 職員は家族を支援される一方の立場とおかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支える関係を築いている	積極的な家族とのかかわりを増やしていく。 看取り介護についても、家族の協力とともにご利用者様の介護を行っていく	①家族に関わりを増やしていただけるような機会を増やす(計画を立てる) ②施設内の面会の制限をおこなわない ③看取りの際に家族が泊まれるスペースの確保と来ていただきやすい環境づくり	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。